

令和7年度 事業計画書

社会福祉法人 齊 慎 会
特別養護老人ホーム西之島の郷

西之島の郷 概要

施 設 の 名 称	特別養護老人ホーム西之島の郷
所 在 地	〒438-0041 静岡県磐田市西之島 26 番地 1
設 置 認 可 日	平成 20 年 3 月 12 日
事 業 の 種 類	

1	事 業 所 名	特別養護老人ホーム 西之島の郷
	介護保険事業種別	指定介護老人福祉施設
	事 業 所 番 号	2276900228
	定 員	80 名
2	事 業 所 名	短期入所施設 西之島の郷
	介護保険事業種別	指定（介護予防）短期入所生活介護
	事 業 所 番 号	2276900228
	定 員	20 名
3	事 業 所 名	西之島の郷 居宅介護支援事業所
	介護保険事業種別	指定居宅介護支援
	事 業 所 番 号	2276900228
	定 員	—

令和 7 年度 運営方針

一 基本方針

昨年度も、物価高騰による先の見えない不安定な社会情勢が続くなか、食材費・消耗品費の増大や、引き続いての慢性的な介護職員不足によるユニット運営など、厳しい中での施設運営となりました。新型コロナウイルスにおいては、当施設においても「脱コロナ禍」を見据えた施設運営に取り組みましたが、8 月にお客様と職員合わせて約 10 名、2 月には短期入所事業所も合わせて約 25 名の感染者が発症し、施設運営に少なからず影響がありました。

今年度も、昨今の社会情勢を踏まえて健全な施設運営をしていけるよう、お客様に充実した生活環境を提供し、職員の職場環境を守り、施設運営体制の安定を目指していけるよう、今年 1 年間取り組んで参ります。

今年度の重点施策としては、第一に、必須となっている施設設備の更新と、今後の施設設備・修繕計画の道筋を策定して参ります。まず、故障により稼働停止になっている空調設備アロエース 1 号機については「エネルギー投資促進支援事業費補助金の設備単位型」での機器 3 割助成金制度を活用し今年度更新を予定しています。助成金については今現在告知待ちですが、現状空調機器 1 台での単独運転になっているため早期の更新が必須となっています。また、令和 8 年度以降の大規模修繕助成金を見込んでの今後の大規模な施設設備・修繕計画の道筋については、現在の補助申請限度額が 9 千万円以上と高額であり、一度実施すると 15 年は再申請できないことや、西之島の郷の償還金が令和 8 年度で完済となることもあり、実質的に令和 9 年度以降の実施に向けての大規模修繕について計画的な申請が必要であると考えられます。

第二に、施設設備の更新と併せて生産性向上を推進し、施設として安定・適正である運営体制の構築を目指して参ります。今後も、施設内における設備の ICT 化、デジタル化を進めることで DX 化をさらに推進し、生産性の向上を図ります。生産性向上の推進体制については、今年度から短期入所事業所でも生産性向上推進体制加算の算定を見込んでおり、特養事業部と短期入所事業

部で連携して委員会活動による生産性の向上に努め、全職員が生産性向上をスローガンとして掲げられるよう発信して参ります。また、BCB の運用や口腔衛生管理等について昨年度の介護保険制度改定を踏襲した適正な運営管理に努めるとともに、新たに導入する介護ソフトシステム「つながる家族」を適正に運用し、お客様とのオンラインによる情報共有の在り方を構築します。

第三に、働く職員が安心感・満足感を得られるような職場環境の充実を目指して参ります。処遇改善加算の取得を受けて、基本給の更なる改定により福利厚生 of 充実を図ることで、職員の働く意欲の向上を図ります。また、3 月よりフィリピンの外国人技能実習生 2 名の受入れが始まりましたが、「教える側」と「教わる側」の相乗効果により職場環境の活性化を目指して参ります。更に、介護リフトや ICT 機器等、職員の心身負担の軽減になるような福祉機器の導入についても今後も積極的に検討します。また、閉塞的になりがちな職場環境での問題・課題に早期に気づき対策を講じられるよう、定期的な面談やメンタルヘルス研修の実施等により、職員の抱える課題や不安の解消に事業所として取り組んで参ります。

二 重点施策

＜1＞必須となっている施設設備の更新と、今後の施設設備・修繕計画の道筋を策定します。

- ・稼働停止となっている空調設備アロエースを、助成金を活用して更新します。
- ・令和 8 年度以降の大規模修繕助成金を見込んで、今後の大規模な施設設備・修繕計画の道筋を検討します。

＜2＞生産性向上を推進し、施設として安定・適正である運営体制の構築を目指します。

- ・施設内における設備の ICT 化、デジタル化を進めることで DX 化をさらに推進し、生産性の向上を図ります。
- ・生産性向上推進体制については、特養事業部と短期入所事業部で連携し生産性の向上に努め、全職員が生産性向上をスローガンとして掲げられるよう発信します。
- ・昨年度介護保険制度改定を踏襲した適正な運営管理と加算算定に努めます。
- ・介護ソフトシステム「つながる家族」を適正に運用し、お客様との新たな情報共有の在り方を構築します。

＜3＞働く職員が安心感・満足感を得られるよう職場環境の充実を目指します。

- ・基本給の更なる改定により、福利厚生 of 充実を図ります。
- ・外国人技能実習生の受入れにより、職場環境の活性化を図ります。
- ・介護リフトや ICT 機器等、職員の心身負担の軽減になるような福祉機器の導入についても積極的に検討します。
- ・定期的な面談やメンタルヘルス研修の実施等により、職員の抱える課題や不安の解消に事業所として取り組みます。

部署別重点目標

一 特別養護老人ホーム

＜1＞介護部

1. 接遇力の向上に努め、お客様とのより質の高いかかわりと個別支援を展開していきます。
 - ①お客様と接する際は丁寧語を使用し、受容と共感的理解を意識したかかわりを目指します。
 - ②アンガーマネジメントを取り入れ、自己覚知と共に職員が感情をコントロールできる手法を学びます。
 - ③個人としての尊厳を大切にし、お客様の情報集約とケアプラン・24時間シートを基本に個別ケアを展開します。
 - ④整理、整頓、清掃、清潔、接遇の5Sを推進します。
 - ⑤挨拶、表情、身だしなみ、態度、言葉遣いを意識し社会人としての節度ある対応に努めます。
2. 「求められる介護福祉士像」を目標に、介護人材における介護レベルの底上げを図り、より踏み込んだ介護サービスを提供します。
 - ①介護ニーズの多様化に対応し、お客様やご家族のエンパワメントを重視した支援を目指すとともに家族の思いや主訴に対するアプローチを実践します。
 - ②Web配信を活用した計画的な内部研修の開催と外部研修への参加を促進します。
 - ③経験者採用（中途採用）における業務習得システムを修正・活用し人材育成に努めます。
3. 業務改善における各備品の管理とシステムの構築に努めます。
 - ①居室担当者としての役割と責任を持ち、お客様に対してかかわりを深めていきます。
 - ②各種加算関連の推進に努め、個別支援において生活支援のフィードバックに努めます。
 - ③福祉用具や備品の管理およびメンテナンスを行います。また必要な福祉用具・備品の購入を打診していきます。
 - ④技能実習生の受け入れと育成指導を元に業務改善を行います。

＜2＞看護部

1. 新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等感染症を持ち込まない・拡げない対策を継続し集団感染を防ぎます。
2. ご利用者の医療重度化が加速するなか、今まで以上に体調不良の早期発見と適正な処置対応に努めます。
3. ご利用者の入居から退居までを担当看護職員が支援する「プライマリーナーシング方式」の更なる確立を目指します。
4. 看護の後方支援の役割を理解し、担当介護職員との連携強化を図ります。
5. 褥瘡対策の支援強化を図り「褥瘡0」を目指します。

＜3＞生活相談部・介護支援専門員

1. 安定した入居稼働率の維持
 - ①入居候補者の面談を早期に実施することで、空床からの迅速な入所案内に努めます。
 - ②医療機関へリアルタイムな空床情報を発信することで、入居申込者の安定確保に努めます。
 - ③施設内見学の積極的な案内により、入居相談時の施設への印象が良くなるよう努めます。
 - ④入院加療時に転院および再入所申し込みを適正に案内することで、無駄のない空床管理に努めます。

2. 科学的介護の推進

- ①統計データの情報を各セクションがスムーズに共有できるよう心掛け、科学的介護の計画推進に反映させます。
- ②生産性向上推進体制加算等の新たな加算算定について、適正な報告・運用に努めます。

3. 社会資源としての役割を展開

- ①施設内における地域活動やボランティア受入について積極的に検討します。
- ②地域における特別養護老人ホームの役割を発揮し、地域貢献できる活動を検討します。

<4> 栄養管理部

1. 栄養ケア・マネジメントの取組み

- ①多様化するお客様の生活歴に合わせた食事の提案、状態に応じ適切な栄養管理を行います。
- ②看取り期や褥瘡管理における管理栄養士の役割や関与を強化し、多職種との連携の推進を図ります。
- ③地域医療関係と情報交換し、迅速な対応が出来る様努めます。
- ④新たな栄養・給食管理ソフトへの移行・運用に適正に対応します。

2. 安心・安全な食の楽しみへの取組み

- ①調理における感染対策を徹底し、安全・安心な食の環境作りに努めます。
- ②ユニットでの調理や食を通じたイベントの開催を行うことで、食を通じた楽しみの提供を行います。
- ③西之島カフェを定期的開催し余暇時間の提供を行います。

<5> 事務部

1. 事業所の受付相談窓口として「笑顔」を絶やさず「気持ちの良い接客」を心掛けます。
2. お客様に対する新たなオンライン請求システムの適正な運営管理に務めます。
3. 物価高騰による購入資材の適正な収支管理と会計処理に努めます。

二 ショートステイ

1. 感染防止対策を継続することで、安心・安全な事業所の利用環境を構築し、稼働率の維持・向上と事業所閉鎖等の事態を未然に防ぎます。
2. ご利用者の重度化、個別化に対応できるよう介護技術・知識の修得に努めます。
3. 生産性を向上させることにより、職員の心身の負担軽減と健康の保持、職場環境の充実化を図ります。

◇令和7年度ショートステイ職員目標◇

職員一丸となり生産性向上に取り組むことで

利用者・家族・職員にとって過ごしやすく働きやすい事業所を目指していきます。

三 居宅介護支援事業所

1. 特定事業所加算（Ⅲ）の算定を継続とした事業所の業務体制の強化を目指します。
 - ①事業所全体で月 135 件／3 名【介護給付 36 件、予防給付・総合事業 9 件（介護給付 3 件相当）】以上の件数を目標とします。また、取扱件数上限 45 件までのインセンティブによる更なる取扱件数の上乗せを見据えます。
 - ②圏域の福祉情勢の把握に努め、特に在宅看取りに関しての地域との連携強化を図ります。
 - ③厚労省が推進する「ケアプランデータ連携システム」の進捗情報の周知に努め、将来的には居宅事業所の DX 化を目指します。
2. 同法人内の居宅サービス事業所と連絡を密に取り、法人スケールメリットを活かした事業展開を図ります。
3. 静岡県医師会の情報連携システム「シズケア＊かけはし」を活用して医療との連携を強化し特定事業所医療介護連携加算の算定を目指します。

行事等計画

一 特別養護老人ホーム

<1>全体行事

月	主な行事等	防災訓練
4 月	お花見	
5 月		通報訓練
6 月	春の健康診断、職員健康診断	消火訓練（消火器）
7 月	七夕	防災教育（防災全般）
8 月	納涼祭	2F 模擬避難訓練
9 月	敬老会	3F 模擬避難訓練
10 月	地域秋祭り、夜勤職員健康診断	訓練オリエンテーション
11 月		防災の日モデル訓練見学 一般防災訓練（夜間想定）
12 月	クリスマス会 お餅つき	防災教育（新任職員）
1 月	新年会	消火訓練（消火栓）
2 月	節分	防災教育（避難所役割等）
3 月		

<2>定期レク・セラピー・クラブ活動等

名称	開催時期・頻度	備考
音楽療法	毎週月曜日	新型コロナウイルス感染症の地域感染状況により、実施については柔軟に対応します。
駄菓子出張販売（駄菓子やっこ様）	不定期実施	
移動訪問販売（縁処：茶屋様）	不定期実施	
生け花クラブ	随時	
図書クラブ	随時	
スイーツクラブ	随時	
居酒屋クラブ（west island）	随時	

バー喫茶「こころ」	随時	
屋台イベント（ラーメン etc）	随時	
床屋	毎月第 2、4 月曜日	

<3>その他行事

名称	参加者	開催時期・頻度	備考
遠足&お食事会等	ご入居者・ご家族	年 1 回	ユニット単位
ドライブ	希望者	随時	初詣・お花見など季節に応じて
買物ツアー	希望者	随時	ご入居者の希望に応じて
誕生日会	ご入居者	毎月 1 回	ユニット単位
おやつ作り	希望者	随時	ユニット単位
ふれあい動物活動	希望者	年 1 回	地域交流室にて開催します

上記の他、歌や踊り、銭太鼓、読み聞かせなどのボランティアによる催事や地元幼稚園児さんとのふれあい交流会の企画を検討していますが、新型コロナウイルス感染症の地域感染状況により、実施については柔軟に対応します。

二 ショートステイ

月	名称	備考
4 月	お花見	桜の綺麗な場所へお花見にご案内します。
5 月	春のお茶会	『新茶』をテーマにしたお茶会を開催します。
6 月	遠足	希望者が全員参加できるよう複数回実施します。
7 月	納涼祭	施設全体行事に一緒にご案内します。
8 月	花火大会	打ち上げ花火と利用者様には手持ち花火をご用意します。
9 月	敬老会	施設全体行事に一緒にご案内します。
10 月	地域秋祭り	地域の祭典で屋台の引き廻しをご覧いただきます。
11 月	秋のお茶会	『秋』をテーマにしたおやつ作りとお茶会を開催します。
12 月	お餅つき	施設全体行事に一緒にご案内します。
1 月	新年会	利用者様が一緒に楽しんでいただけるような新年の催しを開催します。
2 月	喫茶カフェテラス	同上

名称	開催時期・頻度	備考
健康王国	随時	通信カラオケ体操プログラムによる体操レクです
個別外出支援	ご利用者希望	ご利用者の希望に応じて対応いたします

研修計画

【研修区分】

名称	主な内容	時期	対象者
新任職員研修	新任職員対象の基礎研修	毎月第 2 木曜日	1 年目職員
UL スキルアップ研修	テーマ別研修 1	毎月第 3 木曜日	ユニットリーダー
施設サービス向上研修	テーマ別研修 2	毎月第 4 木曜日	1 年以上職員
フォローアップ研修	OJT 担当、2 年次、3 年次職	6, 9, 11 月の第 1 木曜日	OJT 担当、2・

	員の育成研修		3 年次職員
非常勤職員研修	非常勤職員の育成研修	5, 12 月の第 4 木曜日	非常勤職員
外部研修報告会	研修内容の報告会	随時	全職員

新任職員研修

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
新任職員研修①	職場概要の理解他	4 月 1, 2 日	新任職員	法人担当者
新任職員導入研修②	実務基礎研修他	4/3, 4, 7	新任職員	FL 他
新任職員研修③	身体拘束廃止・虐待の防止	5 月 8 日	1 年目職員	成田
新任職員研修④	感染症・食中毒の防止	6 月 12 日	1 年目職員	大石・松島
新任職員研修⑤	介護事故の防止	7 月 10 日	1 年目職員	甲賀
新任職員研修⑥	褥瘡の発生防止	8 月 14 日	1 年目職員	石塚
新任職員研修⑦	看取り介護	9 月 11 日	1 年目職員	伊澤
新任職員研修⑧	認知症ケア：アンガーマネジメント	10 月 9 日	1 年目職員	松島
新任職員研修⑨	個人情報保護	11 月 13 日	1 年目職員	塩田
新任職員研修⑩	防災対応	12 月 11 日	1 年目職員	成田
新任職員研修⑪	苦情・要望対応	1 月 8 日	1 年目職員	甲賀
新任職員研修⑫	腰痛予防と労働安全衛生	2 月 12 日	1 年目職員	伊藤
新任職員研修⑬	振返りとフォローアップ	3 月 12 日	1 年目職員	成田

UL スキルアップ研修：テーマ別研修 1

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
施設サービス向上研修	事業計画、目標管理、BCP 全般	4/17	UL	成田, 松島, 甲賀
リスクマネジメント研修	ヒヤリハット分析、事例検討	5/15	UL	安全業務改善委員会
排泄ケア研修	排泄ケアスキルアップ研修	6/19	UL	ユニ・チャーム(株)
納涼祭のため未実施				
虐待防止研修	アンガーマネジメント研修	8/14	UL	成田
看取り介護研修	施設における看取り介護	9/18	UL	ケア向上委員会
メンタルサポート研修	職員のメンタルサポート研修	10/16	UL	ケア向上委員会
感染症対策研修	感染症の知識および対応、演習	11/20	UL	(株)OKU, 松島
BCP 訓練研修	災害・感染症 BCP の机上訓練	12/18	UL	成田, 松島, 甲賀
褥瘡発生防止研修	褥瘡知識の医療的ケア研修	1/15	UL	石塚
身体拘束廃止研修	権利擁護と身体拘束廃止	2/19	UL	ケア向上委員会
年度末報告会研修	各部署年度末の総括、情報共有	3/20	UL	各部署長, UL

施設サービス向上研修：テーマ別研修 2

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
施設サービス向上研修	事業計画、目標管理等、BCP 全般	4/10, 17, 24	1 年以上	成田, 松島, 甲賀
リスクマネジメント研修	ヒヤリハット分析、事例検討	5/22	1 年以上	安全業務改善委員会
看取り介護研修	施設における看取り介護	6/26	1 年以上	松島
虐待防止研修	アンガーマネジメント研修	7/24	1 年以上	ケア向上委員会
虐待防止研修	アンガーマネジメント研修	8/21	1 年以上	ケア向上委員会
メンタルサポート研修	職員のメンタルサポート研修	9/25	1 年以上	成田
褥瘡発生防止研修	褥瘡知識の医療的ケア研修	10/23	1 年以上	石塚

感染症対策研修	感染症の知識および対応、演習	11/20	1年以上	(株)OKU. 松島
BCP 訓練研修	災害・感染症 BCP の机上訓練	12/25	1年以上	成田, 松島, 甲賀
BCP 訓練研修	災害・感染症 BCP の机上訓練	1/22	1年以上	成田, 松島, 甲賀
身体拘束廃止研修	権利擁護と身体拘束廃止	2/26	1年以上	ケア向上委員会
外部研修報告研修	外部研修の報告会	3/27	U L	ケア向上委員会

口腔衛生研修①	口腔ケアについて①	8月	全職員	やまなか歯科院長
口腔衛生研修②	口腔ケアについて②	2月	全職員	やまなか歯科院長

フォローアップ研修

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
3年次職員研修	3年次職員フォローアップ研修	6/5	3年次職員	甲賀
OJT 担当職員研修	OJT 担当職員の育成研修	9/4	OJT 担当職員	伊澤
2年次職員研修	2年次職員フォローアップ研修	11/6	2年次職員	甲賀

非常勤職員研修

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
非常勤職員研修①	事業計画、目標管理等、BCP 全般	5/22	非常勤職員	成田, 松島, 甲賀
非常勤職員研修②	アソガーマネジメント研修	12/25	非常勤職員	ケア向上委員会

会議・委員会計画

定例会議

名称	時期・頻度	主な内容	出席者
職員会議	毎月第2木曜日	施設運営、全体課題の協議等	各部署代表, FL
介護部会議	毎月第3木曜日	介護業務に関する事等	各部署代表, FL, UL
特養・相談部連絡会議	毎月第2木曜日	特養 FL と相談部の情報共有	FL, 相談部
フロアー会議	毎月第3木曜日	介護業務に関する事等	FL, UL
栄養ケアマネジメント会議	毎月第3木曜日	給食・栄養に関する事	各部署代表, FL, UL
ショート運営会議	毎月第2木曜日	SS 運営に関する事等	施設長, FL, 相談員
看護部会議	1回/月	看護業務に関する事等	看護職員
ユニット会議	1回/月	ご入居者の処遇・個別ケア	ユニット職員
優先入所検討会議	4回/年、他随時	優先入所名簿の作成、確認	各部署代表他

委員会活動

名称	時期・頻度	主な内容	出席者
事故防止・安全衛生対策委員会	4・7・10・1月	事故防止と労働安全衛生に関する事	各部署代表
感染・褥瘡予防対策委員会	5・8・11・2月	感染症と褥瘡防止に関する事	各部署代表
身体拘束廃止・虐待防止委員会	6・9・12・3月	身体拘束廃止と虐待防止に関する事	各部署代表
生産性向上委員会	6・9・12・3月	施設運営の生産性向上に関する事	各部署代表、委員
設備管理委員会	随時	施設内の設備維持・管理に関する事	各部署代表、UL
ユニットケア推進委員会	四半期ごと	ユニットケア運営に関わる事	各部署代表
ケアプラン委員会	四半期ごと	ケアプラン業務に関する事	担当職員

接遇向上委員会	四半期ごと	接遇等サービス向上に関する事	担当職員
安全・業務改善委員会	偶数月	安全対策、業務改善および運営に関する事	担当職員
リネン・環境整備委員会	奇数月	施設内外の環境整備、省エネと介護用品の管理	担当職員
ケア向上委員会	偶数月	職員の資質向上、教育・研修に関する事	担当職員
レク行事委員会	奇数月	レク行事全般に関する提案、運営に関する事	担当職員